

主要課題	No. 17	認知症施策の推進	3 すべての人に 健康と福祉を ~	17 パートナーシップで 日々を充実しよ
------	--------	----------	-------------------------	-------------------------

## ●手段（事業計画）●

事業番号	計画事業（所管課）	年次計画				令和7年度 事業費 (千円)
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
72	認知症施策の総合的な推進 [ 高齢福祉課 ]			認知症施策推進計画● (高齢者・介護保険事業計画に反映)		
	(認知症に関する正しい知識・理解の普及啓発)	・認知症サポーター養成講座 ・「チームオレンジBunkyo」サポーターの養成 ・認知症関係展示会（認PAKU） ●「チームオレンジお助け隊」による就業活動				
	(切れ目ない支援体制づくり)	・もの忘れ医療相談、認知症初期集中支援チーム ・認知症支援コーディネーター・嘱託医の配置 ・認知症ケアパス*作成・普及 ・社会福祉協議会「いきいきサポート」を活用した支援				
	(行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業)	・行方不明認知症高齢者発見ネットワーク ・地域住民等による声かけ模擬訓練 ・身元確認用ステッカー・見守りシール等の配付 ・民間事業者が運営するGPS探索サービスの利用助成				50,712
	(家族・本人支援)	・認知症家族交流会、介護者教室、認知症カフェ* ・認知症本人交流会				
	(認知症検診・診断後支援)	・認知症診断後支援事業 ・認知症診断後の包括的なサポートやフォローアッププログラム等 ・認知症検診 ・55～75歳までの5歳ごとの節目検診 ・認知機能デジタル測定ツールによる脳の健康度測定 ・医師からのアドバイスや管理栄養士等による個別指導 ●集団会場型から指定医療機関型へ変更 ●対象年齢以外の希望する区民へセルフチェック 機会提供				
		・PFS*の活用による普及啓発・早期支援の強化（令和6年度終了） (認知機能測定とフォローアッププログラムの参加者数向上に係る 指標設定)				

\* 認知症ケアパス

認知症発症予防から人生の最終段階まで、認知症の容態に応じ、相談先や、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければいいのか、これらの流れをあらかじめ標準的に示したもの

\* 認知症カフェ

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場

\* PFS（成果連動型民間委託契約方式）

民間事業者に委託等を行う事業で、解決すべき行政課題に対応した成果指標を設定し、支払額を成果指標値の改善状況に連動させるもの